

夢洲における今後の開発（第2期区域・アクセス鉄道）について

【資料2】

- ◆ 夢洲における国際観光拠点形成に向け、第1期区域（IR）に続き、第2期・第3期区域の開発を段階的に進め、非日常空間を創出
- ◆ 今後、第2期区域について、万博の理念を継承したまちづくりを進めることとし、まちづくりの方針（マスタープラン）を策定のうえ開発事業者募集を実施予定

夢洲第2期区域スケジュール

【2024.9】 マスタープランの策定に向けた民間提案募集の実施
【2025.1】 2件の優秀提案の決定

【2025.4】 「夢洲第2期区域マスタープランVer.1.0」の策定
【2025.10】 「夢洲第2期区域マスタープランVer.2.0」の策定

大屋根リングの利活用についての検討及び議会の議論

【2026年春頃】 「夢洲第2期区域マスタープランVer.3.0」の策定

【2026年春頃】 夢洲第2期区域 開発事業者募集の開始

夢洲第2期区域における万博レガシーの継承

◆大屋根リング

北東部約200mを残置、公園・緑地等としての整備を検討



提供：2025年日本国際博覧会協会

◆静けさの森

樹木を利活用した緑地等の整備の提案を募集



提供：2025年日本国際博覧会協会

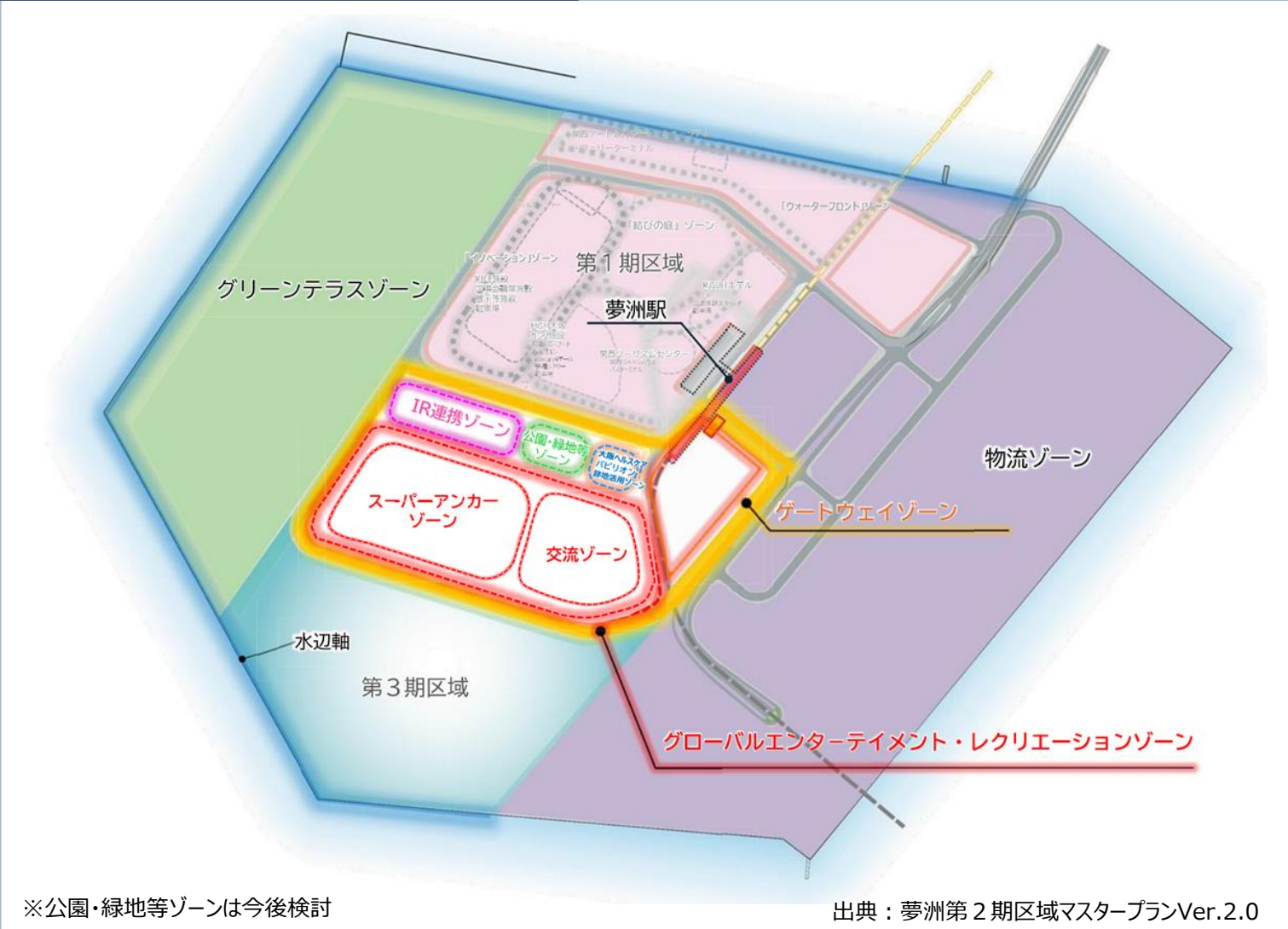
◆大阪ヘルスケアパビリオン

建物の一部の残置などにより、先端医療等に係る事業を実施



(参考)会期中の大阪ヘルスケアパビリオン

夢洲第2期区域の土地利用方針



図は、夢洲の土地利用計画を示しています。第1期区域（IR）は中央部にあり、夢洲駅を中心に、スーパーアンカーゾーン、交流ゾーン、ゲートウェイゾーン、物流ゾーン、グリーンテラスゾーン、水辺軸、第3期区域、グローバルエンターテインメント・レクリエーションゾーンが配置されています。また、公園・緑地等ゾーンも示されています。

※公園・緑地等ゾーンは今後検討

出典：夢洲第2期区域マスタープランVer.2.0

夢洲アクセス鉄道（北ルート）検討状況



図は、夢洲アクセス鉄道の北ルートと南ルートの検討状況を示しています。北ルートは、舞洲、新桜島、西九条、中之島、桜島、九条、夢洲の順に進みます。南ルートは、夢洲、コスモスクエア、咲洲の順に進みます。また、JR桜島線延伸（桜島～舞洲～夢洲）と京阪中之島線延伸（中之島～九条）も検討されています。

出典：夢洲アクセス鉄道に関する検討会資料

R6.11～：「夢洲アクセス鉄道に関する検討会」開催

R7.8：検討結果公表

- 答申路線と検討路線を比較検討し、費用対効果等について検討路線が優位
- 今後、検討路線について、建設計画や運行計画等の検討を深度化